

令和8年7月 斐伊川水系水質情報

令和8年7月(宍道湖8日・中海9日採水)							単位:mg/l(Chl-a: μ g/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部	
COD	全層	4.4	△	平年並み	4.0	×	やや高い	4.6	△ 平年並み
全窒素	上層	0.37	○	良好(平年並み)	0.31	○	良好(平年並み)	0.30	○ 良好
全リン	上層	0.041	△	平年並み	0.038	△	平年並み	0.039	△ 平年並み
Chl-a	上層	30	△	平年並み	7.6	△	平年並み	7.6	△ 平年並み
塩化物イオン	上層	3,240	△	平年並み	8,660	△	平年並み	10,500	△ 平年並み
	下層	3,370	△	平年並み	16,500	△	平年並み	11,900	△ 平年並み
溶存酸素	上層	9.8		平年並み	8.9		平年並み	11.4	平年並み
	下層	6.0		やや低い	2.0		やや低い	12.5	やや高い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	3.7	やや上昇	3.1	上昇	4.1	横ばい
全窒素	上層	0.30	やや上昇	0.25	やや上昇	0.32	横ばい
全リン	上層	0.034	横ばい	0.031	やや上昇	0.046	横ばい

宍道湖の透明度は1.8mから1.5mとやや下降し、平年並み。中海の透明度は2.7mから2.0mと下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.5mから2.2mとやや下降し、平年並みとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値－標準偏差値	↓		ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
	↓		<やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%